

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	教育研究所事業				開始年度	昭和62年	
基本目標	教育内容の充実				終了年度		
担当課(局)	教育総務課	担当係	教育総務係	記入者	河野恵子	評価者	黒水日出夫
21年度決算	1,455	千円	22年度予算	1,656	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	437 千円		22年度人件費	434 千円		事業従事者数	0.06 人 0.06 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行い、各学校への研究結果の普及及び教育実践力の向上を図る。
事業の内容	平成19年度から3年計画で「ふるさと学習」を教育課程の中に位置づけ、家庭や地域との連携を図り共同実践に向けた具体的な取組を通して、ふるさとへの愛と誇りをもつ児童生徒の育成に向けた共同研究を行う。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 教材の作成	総合的な学習の時間に活用できることを念頭に置き、ふるさとマップを生かして授業での興味・関心を持たせられるように各素材の写真と動画をDVDに収録し、全小中学校各学年に1枚ずつ配布し活用できるようにした。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 教育関係職員研修	初任者研修、教職経験10年経過研修において校外研修、校種間体験研修を行い資質向上につながった
	2 研究成果発表回数	高鍋町教育職員研修会、宮崎県教育研究機関連絡協議会研究発表大会での研究成果発表、研究報告書作成
	3 研究会開催回数	テーマをより深く研究するため、各校から2名を選出し合計8名で共同研究を行った。3年計画での共同研究ということもあり、その内2名は昨年度から継続の研究員である

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	教材の作成	目標値		1	1	
		実績値		1		
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	教育関係職員研修	目標値	5	6	7	
		実績値	5	6		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	研究成果発表回数	目標値	1	3	3	
		実績値	2	3		
		達成率	%	200.0%	100.0%	
	研究会開催回数	目標値	21	21	23	
		実績値	26	20		
		達成率	%	123.8%	95.2%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	教育研究所は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条に基づき、教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行うことを目的としているため町が行うべきである。町内4校による合同研究また小中連携による一貫教育の推進であるので、事業を廃止した場合は、小中学校9年間を通して行う町内の統一した取組が後退すると考えられる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	昨年度小中学校9年間を見通した地域教材の教材化について研究・開発に取り組んだことで、4校それぞれが系統的、発展的かつ体験的に指導できるようになった。また「総合的な学習の時間」における「ふるさと学習」の小中一貫したカリキュラム編成や共同実践のための啓発、町広報誌による町民への啓発及び学校行事等を利用した保護者への啓発により、「児童生徒のふるさと高鍋町への興味・関心をさらに高めることができた。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	以前は研究テーマに基づき個人研究をしていたが、平成19年度から3年計画で4校の教師が共同研究することにより、共通理解のもと一貫した指導ができる。平成20年度から研究員を8名にし経費削減をしているが、小中学校が連携し共同研究することで成果が上がっていると思われる。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行うための事業であるため、町民との協働の予定は現在のところない。ただし、ふるさと学習を實踐していく過程でボランティアの方の話を聞いたりするといった形での協働の可能性は十分あり、また一部は既に行っている。

事務事業名	教育研究所事業	担当課(局)	教育総務課
-------	---------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>人間尊重の精神を基盤とし、総合的な学習もして、心身ともに健全な人材育成を目指すという観点からも目標がしっかりと設定されている。 生涯健康を目標に、たくましい体と粘り強い精神力を持つ指導者になるように努力して欲しい。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	<p>◎昨年の検討項目も再度検討してもらいたい。 ◎成果が良く見えない。</p>
	コスト	現状維持	